

「不適正ヤード対策」及び「資源循環ネットワーク形成及び拠点の戦略的構築」に関する環境省殿の取組に敬意を表すとともに、日本鉄鋼業界として全面的にバックアップして参りたい。日本鉄鋼業界として、日本政府からのご支援を賜り日本の鉄リサイクラーの皆様とともに成長する未来を築いて参りたい。

- 我が国の2050年カーボンニュートラル実現に貢献すべく、日本鉄鋼業は現在、水素還元製鉄等の超革新的技術開発等、様々な取組みを複線的に推進。
- 転炉や新大型電炉向けに利活用が拡大され**鉄スクラップは「重要物資」に**。

革新的技術開発

長期的・抜本的なCO₂削減技術の開発

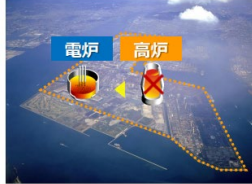
グリーンイノベーション基金「製鉄プロセスにおける水素活用」プロジェクトの下、我が国の2050年カーボンニュートラルに貢献すべく、ゼロカーボン・スチール実現に向け以下4テーマの技術開発に果敢に挑戦する。

- ・ 所内水素を活用した水素還元技術等の開発
- ・ 外部水素や高炉排ガスに含まれるCO₂を活用した低炭素技術等の開発
- ・ 直接水素還元技術の開発
- ・ 直接還元鉄を活用した電炉の不純物除去技術開発

✓ 日本製鉄（株）八幡地区

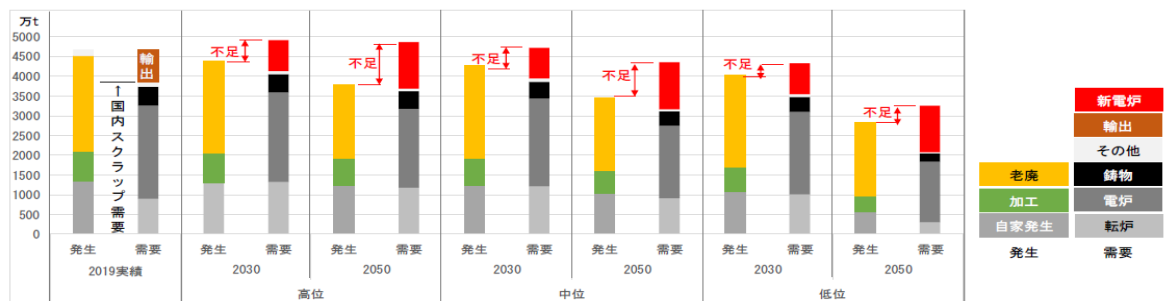


✓ JFEスチール（株）倉敷地区



出所:鉄連・GX実行会議資料

- 将来見通しでは、いずれのシナリオでも国内鉄スクラップ需要量は発生量を上回る。
- 特に**品質要求度の高い製品製造に必要な高品位スクラップは不足傾向**。

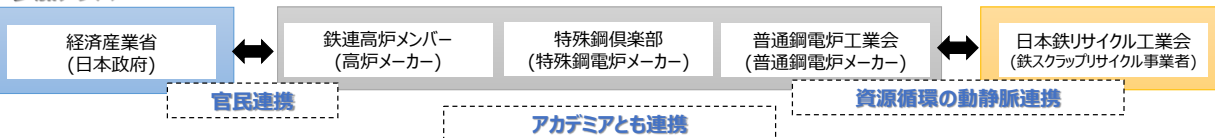


出典:「カーボンニュートラルを踏まえた我が国金属産業の持続的発展に向けた調査事業、2022」データより日鉄総研作成

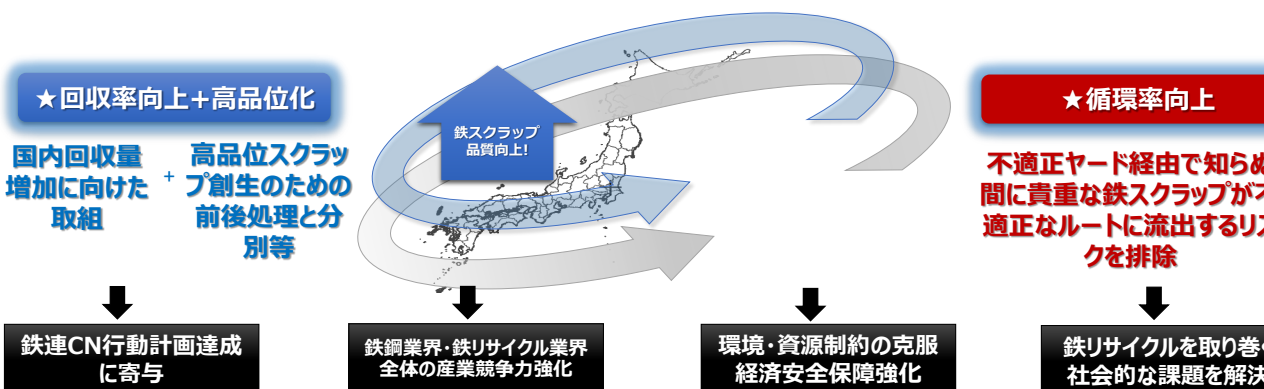
- 今後「重要物資」となる鉄スクラップ利活用拡大を推進するため、経済産業省のサーキュラーエコノミー(CE)構築のためのイニシアチブであるサーキュラーパートナーズ(CPs)に参画し**CPs鉄鋼WGを設置**。

CPs鉄鋼WGの活動イメージ

参加メンバー

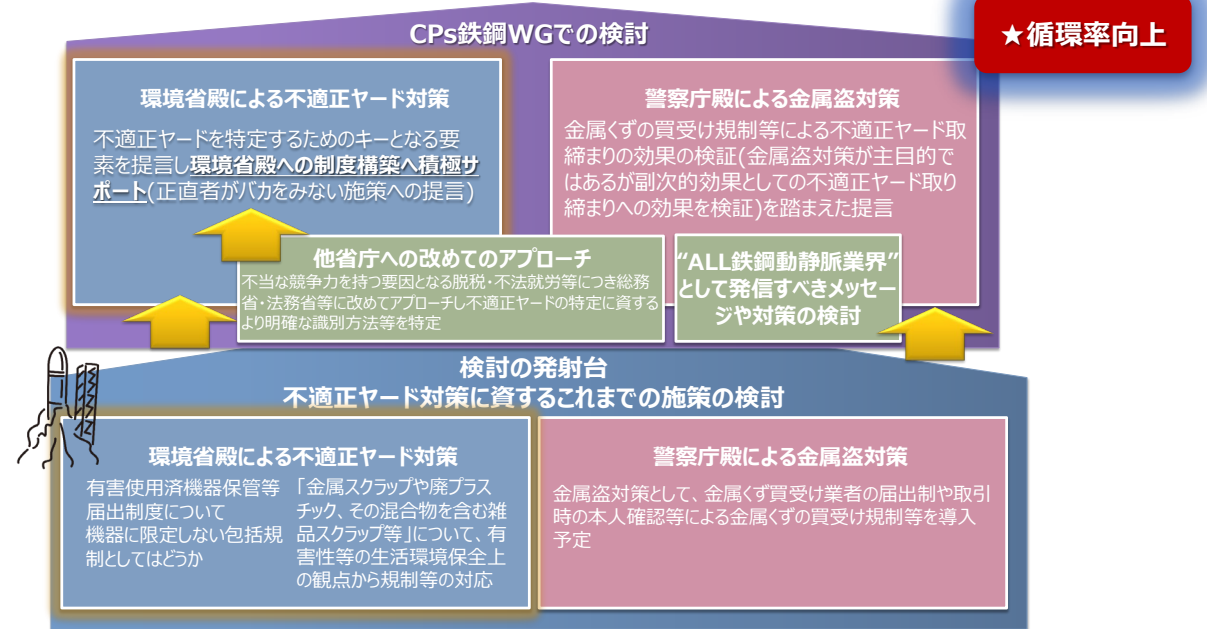


アプローチイメージ



- **CE構築・GX推進におけるCN達成・経済安全保障強化・産業競争力強化等のために**、CPs鉄鋼WGにおいて**不適正ヤード対策についても検討**の予定。
- **不適正ヤード対策に資する環境省殿による環境対策と警察庁殿による金属盗対策の検討へのご支援が検討の土台**。
- このうち、**環境省殿が検討されている有害使用済機器保管届出制度については、現行の運用が十分に機能しているとは言えず、届け出制度の充実化や未届出業者の取締が求められるところ**。法改正においては、**有害性等の生活環境保全上の観点から、実効性の伴う制度の見直しや対象品目の見直し**を行って頂きたい。ただし、ヤードから直接原材料になるものについては環境への悪影響のリスクはないことから、例えば「原材料のヤード」は除外として頂けるとありがたい。

不適正ヤードに対するCPs鉄鋼WGのアプローチ



- 日本鉄鋼業界としては、環境規制や金属盗に加え、**不適正ヤードが脱税や不法就労等により「不当な競争力」を持つことが問題**と思料。
- 脱税等には通報制度があるが、これを活用するには確たる証拠が求められる。例えば自動車が積みあがっている等、疑わしきヤードがある場合でも、**一般市民が証拠をつかみにいくことは極めて困難かつリスクがある**。よって**環境省殿におかれては本件の検討に加え、警察庁殿等の他省庁と連携頂き、より実効性のある規制をご検討頂けるとありがたい**。

- 鉄スクラップの回収率向上及び高度化についても、CPs鉄鋼WGにおいて、**国内回収量増加に向けた取組事項の調査と高品位スクラップに関する調査**に着手。
- **鉄スクラップの回収率向上と高品位スクラップ創生のための前後処理と分別を促進し、日本国内の鉄スクラップの品質向上のサイクルを創り出す**ことを目指す。

国内回収量増加に向けた取組事項の調査	高品位スクラップに関する調査
高度経済成長期に導入され現在は遊休化している(工業地帯等の)生産設備の鉄源化につきポテンシャルとハードルの調査を開始	NEDO「ベースメタルの資源循環に関する俯瞰調査」において技術リストを取り纏め。この情報も活かし、今後日本として導入していくべき選別設備・プロセス及び処理後のスクラップの品質レベルを特定していく予定
シップリサイクルについて取組を進める解撤業者へのヒアリングから検討開始	

- **環境省で構想しているリサイクル拠点は、まさに鉄鋼WGで目指しているところと合致**しており、非常に重要な取組であると認識。**鉄鋼WGでの検討との連携に期待**。

★回収率向上
+ 高品位化